

# 表現基礎(構成)

選 択

開講年次：1 年次後期

科目区分：講義 + 演習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：本講義では、製図・色彩に関する道具を用いた作画・着色の体験を通し、図形、色、文字、構成に関する基礎的知識・技術を修得することで表現活動に必要な描画能力の向上を図る。

- 到達目標**：①図形、文字、色に関する基礎的知識・技術を理解する。  
②図形、文字、色に関する基礎的知識・技術を使用できる。  
③図形、文字、色に関する知識・技術を生かした構成表現ができる。

■**担当教員**：

福田 大年

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 図形・色について：図形と色の基礎知識
- 第 2 回 図形・色について：図形の作図と着色 1
- 第 3 回 図形・色について：図形の作図と着色 2
- 第 4 回 図形・色について：図形の作図と着色 3
- 第 5 回 図形・色について：図形の作図と着色を応用した制作 1
- 第 6 回 図形・色について：図形の作図と着色を応用した制作 2
- 第 7 回 文字・構成について：文字と構成の基礎知識
- 第 8 回 文字・構成について：欧文書体の文字組 1
- 第 9 回 文字・構成について：欧文書体の文字組 2
- 第 10 回 文字・構成について：日本語書体の文字組 1
- 第 11 回 文字・構成について：日本語書体の文字組 2
- 第 12 回 文字・構成について：日本語書体の文字組 3
- 第 13 回 図形、色、文字を使った構成表現 1
- 第 14 回 図形、色、文字を使った構成表現 2
- 第 15 回 図形、色、文字を使った構成表現 3

■**教科書**：適宜資料を配布する。

■**参考文献**：授業で適宜紹介します。

■**成績評価基準と方法**：出席・授業態度・提出課題の結果を総合して評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
作品	◎	◎	◎	作品の内容	70%
出席	○	○	○	2/3以上の出席が必要	30%
				出席回数×2点	欠格条件

◎：より重視する。 ○：重視する。 空欄：評価に加えない。

■**関連科目**：表現基礎（描画）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：デジタル技術を使った表現を指向していても、図形、色、文字、構成に関する基礎的知識・技術は、手作業で得られる経験が非常に重要であり、その経験はすべての表現活動の基盤となります。なお授業開始時に、一括購入する教材費（用紙・製図・着色用具など）としてお金が必要になります。金額などの詳細は別途情報提供します。